事例No.	1670
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	北海道夕張市

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・人材確保・育成 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	PPP/PFI

事例内容・タイトル

PFI による浄水施設等の更新・維持管理及び水道窓口等業務

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【北海道夕張市】
PFIによる浄水施設等の更新・維持管理及び水道窓口等業務

PPP/PFI　水道事業

北海道夕張市土木水道課

● 取組の概要

水道水の安全・安定した給水維持を実現するため、PFI事業方式の導入を行った。

◆総事業費　約49億2,639万円（うち施設整備費25億円）

◆背景

- 水道施設の能力が現在の人口に比べて過大で、人口減少による水道料金収入が減少、運転や保守、老朽化による修理等に係る多額の費用を要する状況にもかかわらず、財政再建団体となった際に多くの職員が退職し、安全・安定した給水維持が困難な状況であった。
- こうした状況に対応するため、浄水場等の施設整備と維持管理業務を委託し事業費の低減化が見込まれるPFI事業方式を導入を検討することとした。

◆具体的内容

- 効率的な施設の改築更新と基幹的施設の再構築を図るため、経年・老朽化した市内2浄水場の全面更新のほか場外系施設（配水池、ポンプ場等）電気機械設備の一部改修の設計・建設・維持管理業務をSPC（特別目的会社）へ一元化した。
- 維持管理に関する技術上の業務（約14項目）をSPCに委託（第三者委託）した。

◆効果

- PFI方式を導入したことにより、主に建設費、調査設計費及び維持管理費が削減された（VFM：6.0%、▲163,500千円）。
- 整備業務における窓口がSPCに一元化されたことで、事業者間の調整等業務の効率化が図られた。

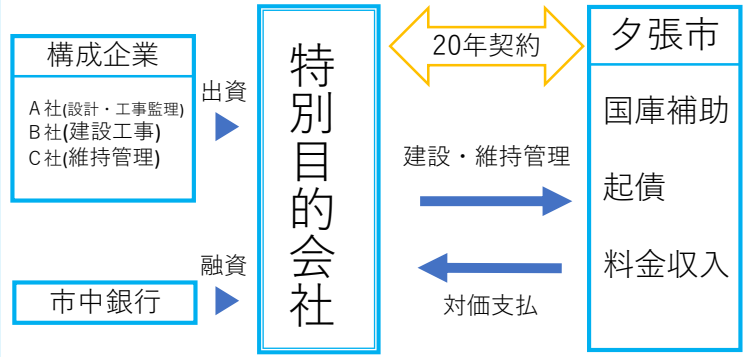
● 取組のポイント

- 水道メータ検針・集金・窓口業務も併せて委託したことで、市では滞納整理業務を重点的に取り組むことが可能となった。
- SPCによる地域若手人材の積極雇用により、地元出身の技術系社員の確保が図られた。
- 専門職員が施設を定期巡回し、きめ細かに点検することで小さな故障の早期発見に繋がり、重大事故となる前に対応できたケースが増えた。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　7,430人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　763.07km²（令和4年1月1日時点）
- 給水人口　7,264人（令和3年度決算）

PFI事業イメージ



● 取組のスケジュール

- 平成22年7月に夕張市上水道第8期拡張計画及びPFI事業実施の決定。
- 平成24年4月から事業開始。

● 今後の展望

- 浄水場の更新は完了したが、導送配水管の老朽化が進んでいる。
- 管路更新計画の策定や、配水池・ポンプ場等の場外系施設の耐震化計画の策定、並びに計画実行に係る財源措置が今後の課題である。